

## 通信コーナー

2017. 9. 1

9月の声を聞くと暑さが緩みます。今年の夏は同じ日本でもこれだけ違うのかと思うくらい東と西の気候の違いに驚いています。集中豪雨で被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。自然現象は解明されていないことが多く、予測不可能なことばかりが続いており、大自然の前ではただ頭を垂れるばかりです。

8月29日5:58に北朝鮮の弾道ミサイルが発射され、早朝から、全国瞬時警報システム「Jアラート」と緊急情報ネットワークシステム「エムネット」が発動されました。北海道や東北、北陸、北関東地方の広範囲で警報が鳴り、新幹線や在来線なども運転を停止。Jアラートを受けたNHKや民放各局も「国民の保護に関する情報」の速報を打った。黒塗りの画面の白抜き文字とともに、「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。頑丈な建物や地下に避難して下さい」なる無機質なアナウンスが流された。関西では現実に聞いていないので分かりませんが、一瞬、パニックに近い状態になったという人も少なくなかったようです。こんなに短い間に身を安全な場所に移動してくださいとは政府は何を考えているのか？平和に慣れて防空対策など一切していないところにミサイルが飛んでくると言われても国民は何もできません。安倍首相は飛来することのないミサイル発射を「これまでにない深刻かつ重大な脅威、国民の生命と安全を守る万全な態勢をとる」と言って、危機感を煽っている。自らの「迅速な対応」や「毅然とした態度」をメディアで大げさに宣伝しています。北朝鮮のミサイル発射自体は危険極まりなく、世界平和を求める国際社会の一員として、冷静に批判していくべきです。北朝鮮は聞く耳を持たないのではないのでしょうか？

秋になりますと税務調査が増えてまいります。現金商売のところは事前通知もなく突然にやってきます。店に入れさせずに都合が悪いといって帰って頂くことが一番ですが、それでも駄目な場合には即事務所に電話して、税理士が行くまでは外で待って貰って下さい。査察の場合は強制調査と同じですので、拒否はできませんから公務執行妨害にならない様にして下さい。

平成28年度 査察の概要は以下の通りです。査察に着手した件数は178件、検察庁に告発した件数は132件でした。脱税額は161億円で告発額は127億円でした。1件当たりの脱税額は9600万円、脱税の多かった業種は、1位が建設業(30件)、2位が不動産業(10件)でした。そのうち目立ったケースは消費税の輸出免税制度を利用した大口の不正還付事件(国内で仕入れたものを海外に輸出したと偽装し、輸出免税による消費税還付制度を悪用したもの)に力を入れ、過去5年間で最大数の告発を行った。実刑判決は14人に出されています。まだまだ暑さが残りそうですので、ご自愛下さいませ。